

(平成30年 8月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水 産 物 全 般	<p>8月の水産物の総入荷量は台風の影響等により前年同月比で4%下回った。</p> <p>総取扱金額は、鮮魚、冷凍が減少したものの加工水産物が増加したことから、全体では前年同月並みとなった。</p> <p>9月は、西日本の日本海側における底曳き網漁が解禁となり、かれい類を中心に、にぎす、たら、あんこう等の入荷量増加が期待される。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、びんちょう、さけの入荷量は上回り、単価は下回った。けんさきいか、はまち(天然)の入荷量は下回り、単価は上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚は、入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、冷さば、冷するめいかの入荷量は上回り、単価は下回った。冷さけの入荷量は前年同月並みとなり、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月並みとなり、単価は上回った。</p> <p>品目別には、塩さば、開干あじの入荷量は上回り、単価は下回った。塩さけの入荷量は下回り、単価は上回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	宮城，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で34%上回り，単価は11%下回った。
ま い わ し	愛知で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で4%上回り，単価は7%下回った。
さ ば	長崎，青森，鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で15%上回ったが，大サイズの入荷が増加したことから単価は17%上回った。
す る め い か	石川，北海道，新潟で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で15%下回り，単価は10%上回った。
太 物	入荷量は前年同月比で7%下回り，単価は前年同月並みとなった。
は も (近)	兵庫，徳島，愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月並みで，需要の多い中サイズの入荷が減少したため，単価は11%下回った。
か ま す	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で17%下回り，単価は40%上回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば	入荷量は前年同月比で37%上回り、単価は6%下回った。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で67%上回り、単価は6%下回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は5%上回った。
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で22%上回り、単価は6%下回った。